

平成29年10月17日

運輸事業の安全に関するシンポジウム2017



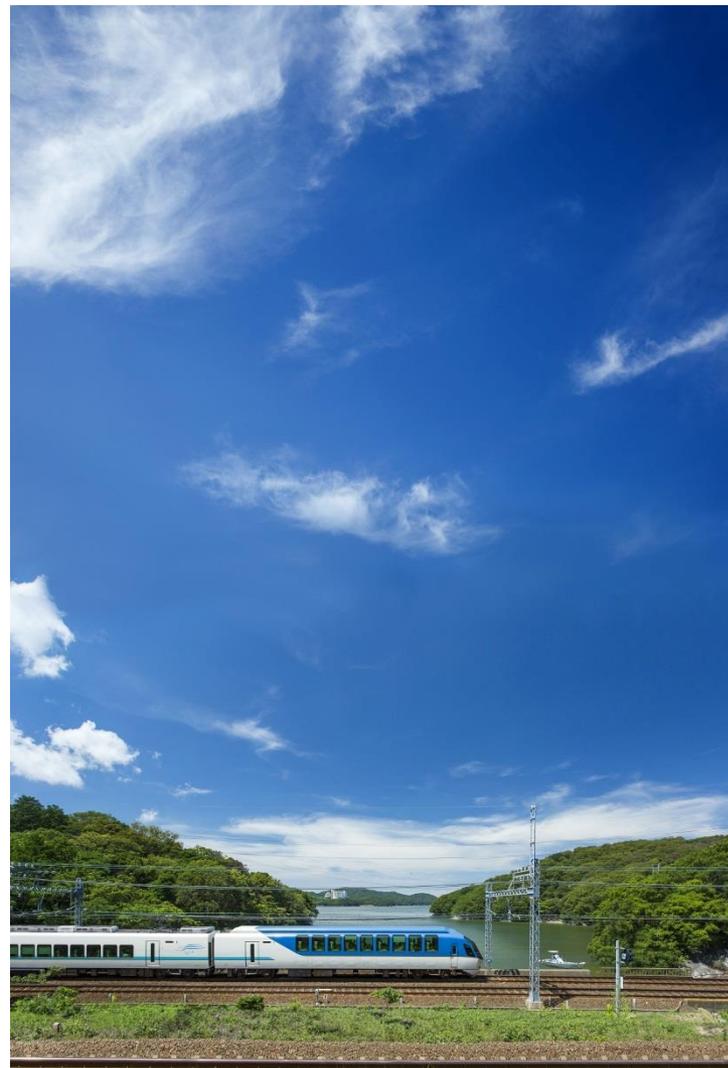
近畿日本鉄道株式会社



- 1.はじめに
- 2.当社の安全管理体制
- 3.伊勢志摩サミットでの警戒
- 4.取組みの紹介

会社概要

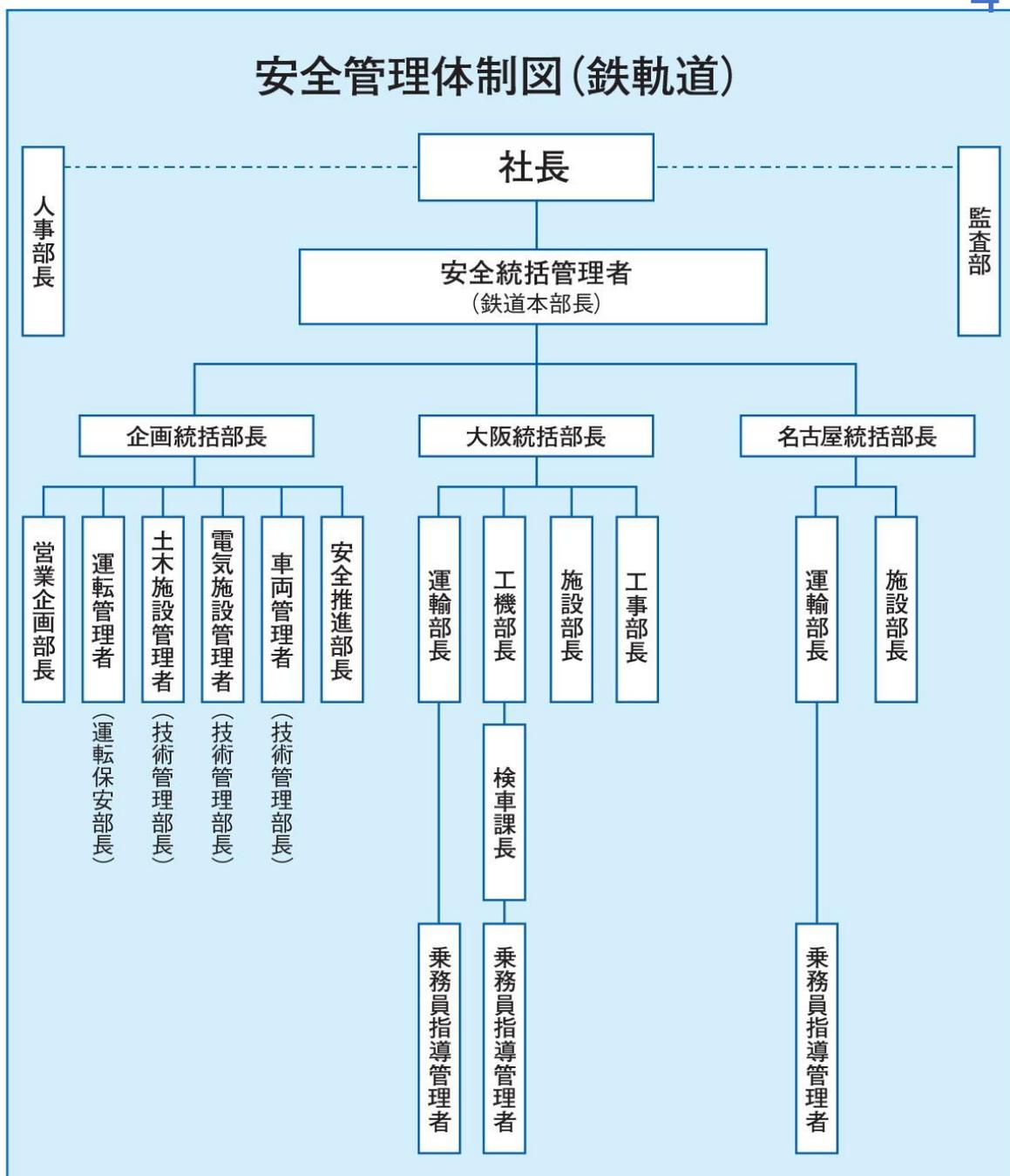
- 本社所在地
大阪市天王寺区上本町6-1-55
- 駅数等(2017年3月末現在)
総駅数：286駅
在籍車両数：1,905両
総営業キロ数：501.1km
- 従業員数(2017年3月末現在)
7,508名
- 営業収益(2016年度)
162,859百万円



近鉄

安全管理体制図(鉄軌道)

○安全管理体制図



【安全方針】

「運転安全規範綱領」に則り、みんなで協力して安全レベルのさらなる向上を目指します。

- 運転安全規範綱領

1. 安全の確保は、輸送の生命である。
2. 規程の遵守は、安全の基礎である。
3. 勤務の厳正は、安全の要件である。

大阪阿部野橋駅への可動式ホーム柵の設置（H30年度予定）



※イメージ図

○管理者会議

安全統括管理者と関係役員、運転・土木施設・電気施設・車両の各管理者、安全推進部長で構成し、部門横断的な情報共有を図っている。





【テロ対応教育の実施】

鉄道テロ対応マニュアル

(異例事態対応マニュアル「テロ編」別冊)

平成19年5月 制定

平成28年5月 改定

近畿日本鉄道株式会社

鉄道本部

テロ警戒のポイント

1. 警戒にあたって

「警戒の目」があると思わせることで、テロ行為を思いとどまらせる抑止効果となります。不審者・不審物に注意し、「何かおかしいな」「いつもと違うな」と感じたら、すみやかに警察(110番)および関係各所に連絡するようにしましょう。また、事前に緊急連絡体制表で社内の緊急連絡先を確認しておきましょう。

社内の緊急連絡先 (- -)

2. 不審者識別のポイントおよび対応手順

以下のポイントを参考として、不審者と疑われる場合は、ためらわず警察および関係各所へ連絡しましょう。

- 同じ場所を行ったり来たりするなど、不自然な行動をしている。
- 見かけない車両が長時間駐車している。
- 施設内をのぞき込んで中の様子をうかがっている。
- メモや録音をしたり、写真やビデオで不自然な撮影をしたりしている。
- 双眼鏡や望遠鏡を使用して不自然な行動をしている。

テロ対応マニュアルの内容拡充

携帯カード「テロ警戒のポイント」

【テロ対応訓練の実施】



三重県・明星車庫
(平成27年11月)



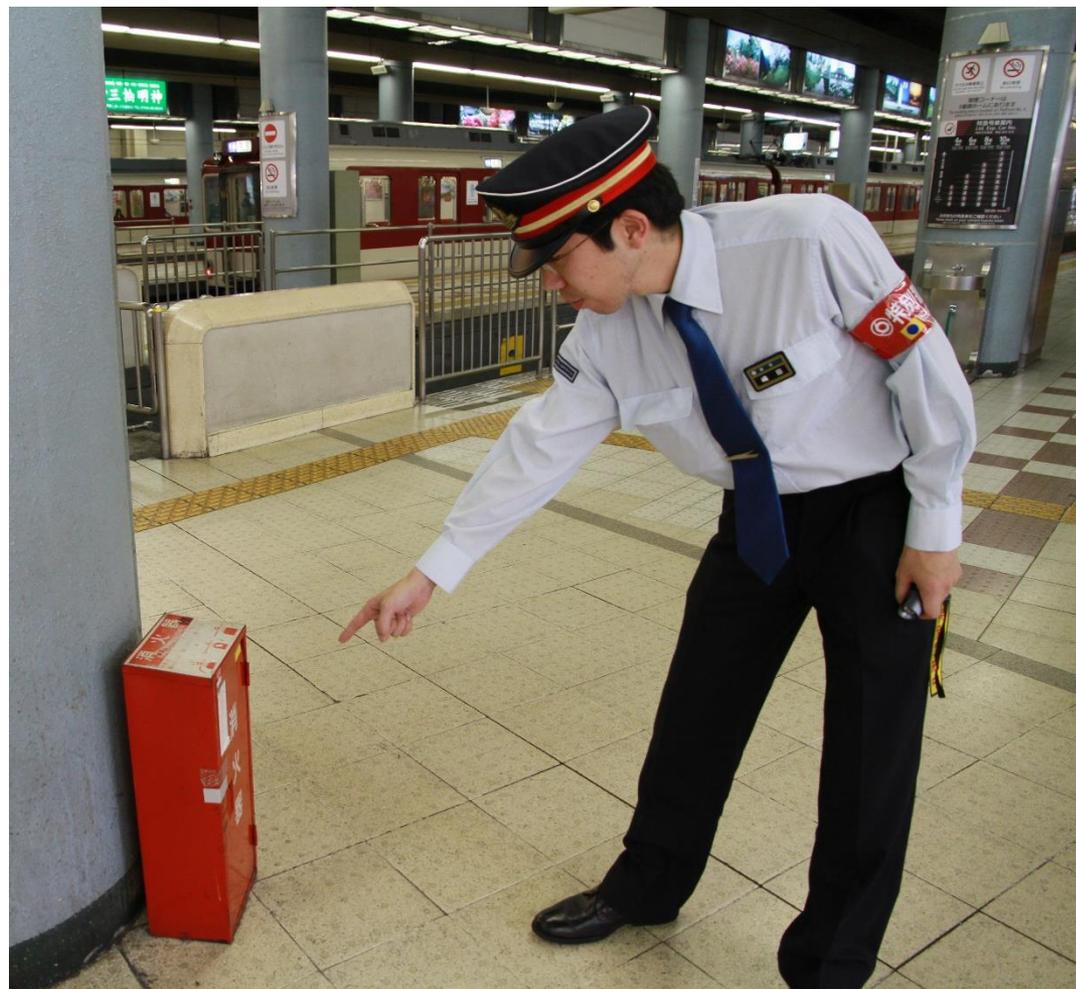
愛知県・近鉄名古屋駅
(平成28年2月)



警戒腕章



バッジ



駅構内の巡回・点検

【列車添乗による車内警戒】



私服社員による車内添乗警戒



車内トイレの点検・確認

【一部の駅、特急列車のゴミ箱を封鎖】



封鎖された駅設置のゴミ箱



特急列車内のゴミ箱も封鎖

【警察との協力による警戒】



大阪難波駅



特急列車

【車庫の警戒】



防犯カメラと照明



赤外線センサー

【夜間の照明点灯等による警戒】



夜間留置車両の前照灯点灯



トンネルの坑口照明

【線路の警戒（橋梁・変電所）】



○ホームページへの対策

- ①脆弱性診断の実施
- ②DDOS攻撃（ホームページへの集中アクセス）対策

○インターネット出入口対策

- ①監視・検知機能の強化
- ②不審サイトへのアクセス検知時の自動遮断、
運用管理機能の強化

○グループ全体の状況把握

主要なグループ会社におけるサイバー攻撃の兆候
を把握する体制を構築

【鵜方～賢島間の運行休止】



○事故の芽情報の収集・活用

【運輸安全マネジメント表彰制度】

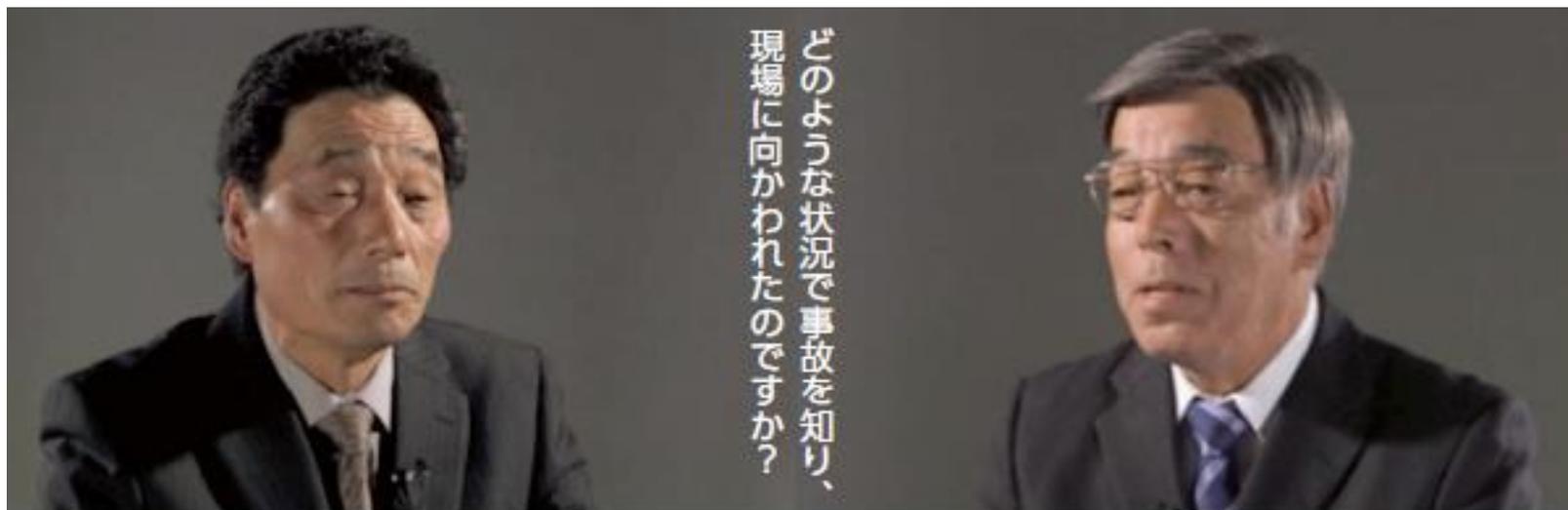
運輸安全マネジメント制度における優良な取組みや事故防止に効果的な報告に対し、毎年「安全推進賞」を授与している。



○教育の実施

【語り部DVDによる事故体験共有】

昭和46年の「総谷トンネル列車衝突事故」を経験した元社員による事故の体験DVDを製作して教育を実施



事故を体験した元社員

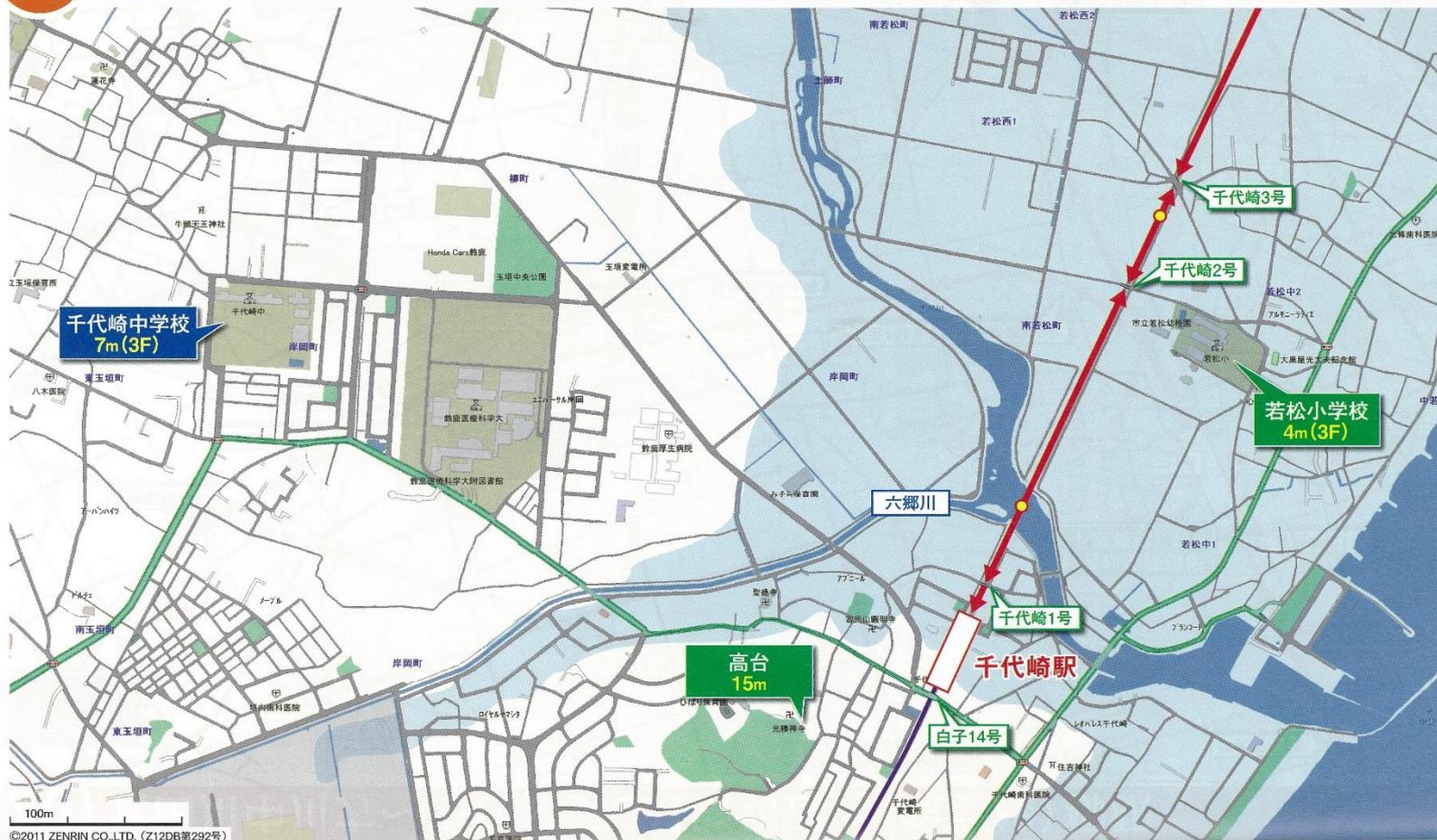
○自然災害等への対応

【大規模地震・津波・豪雨等への対策】

「津波発生時の避難地図」を作成し、乗務員等へ配付

2015.2 四版

21 千代崎第3号踏切道～千代崎変電所



【津波発生時の緊急避難誘導標等】



終端標



指示標

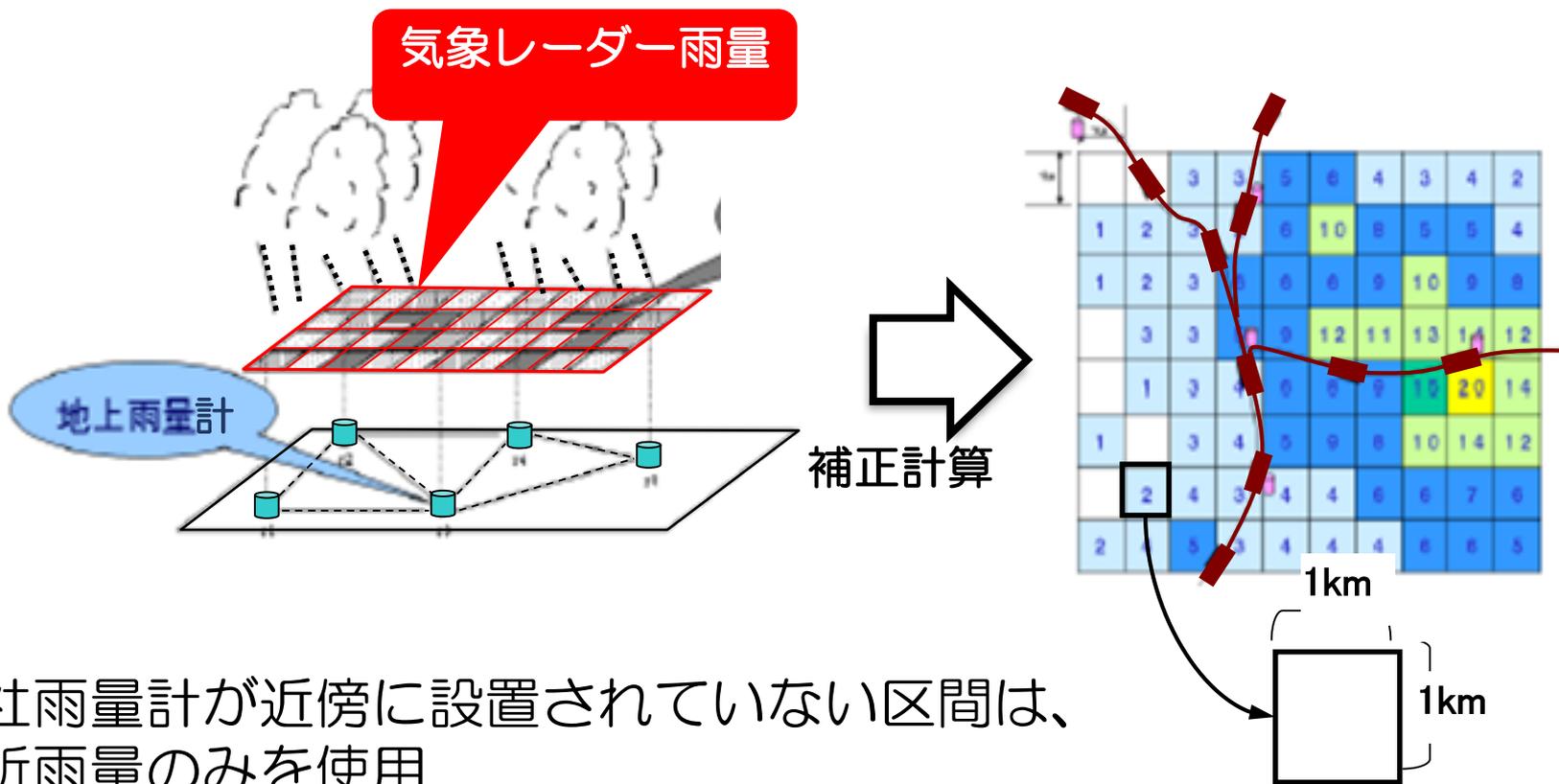
【拠点駅参集訓練の実施】

自宅から拠点駅にヘルメットを持参して徒歩または自転車で出動し、駅で助役から役割の指示を受ける。



【解析雨量による運転規制の導入】

気象レーダー雨量に地上雨量計の観測値を加味して補正計算し、1kmメッシュの解析雨量値を算出。これをもとに運転規制を実施（運転規制には当社雨量計の観測雨量も併用）



※当社雨量計が近傍に設置されていない区間は、解析雨量のみを使用

【大阪地区総合指令室】

1フロアに運転・旅客・工務・電気・検車の各指令を集約することで、適時的確な情報交換や連携を実現。大規模災害時などには、隣接する異例事態対策本部と一体で運用



電気指令

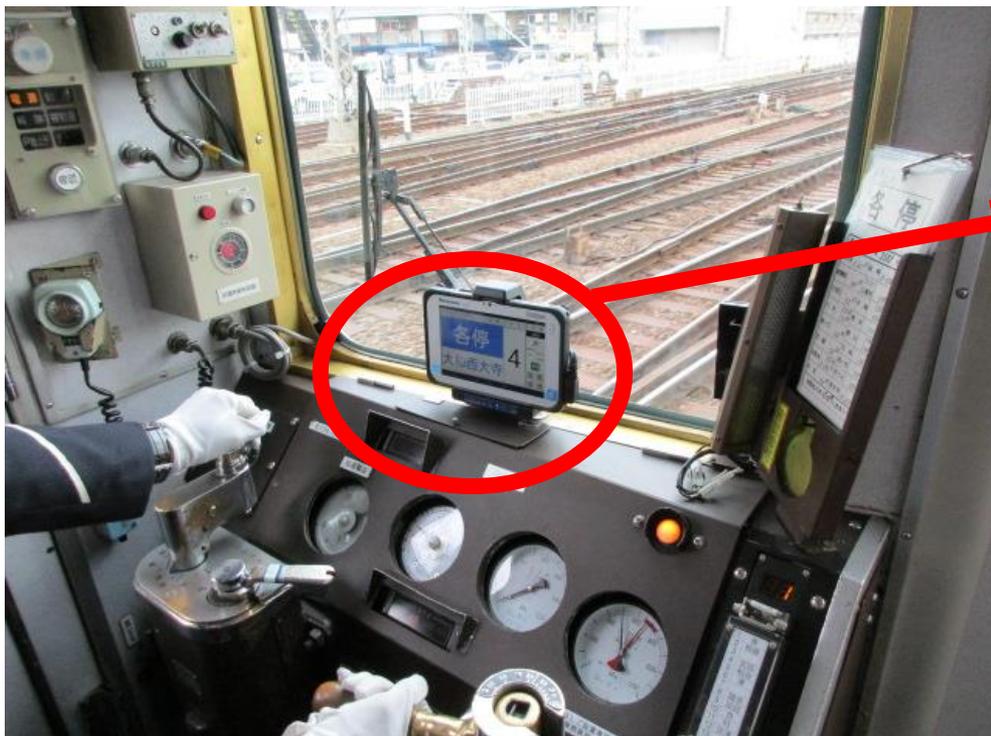


運転指令

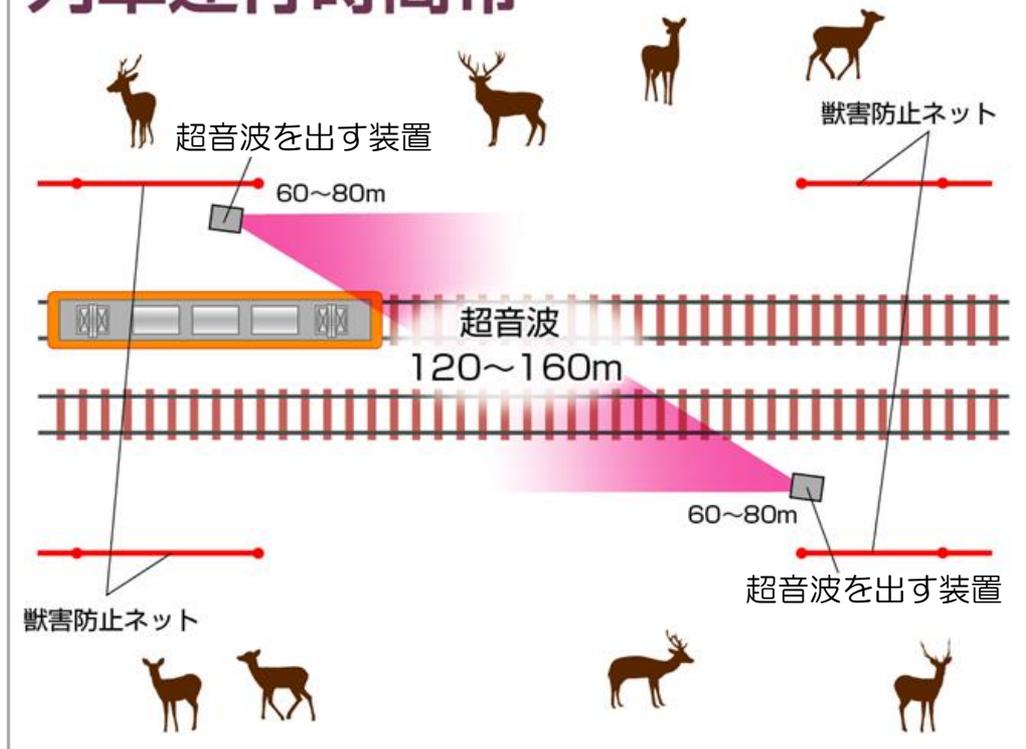
○新技術を活用した取組み等

【運転士支援システム】

GPS技術を利用して列車の位置を特定し、音声や発光表示等の方法で運転支援



列車運行時間帯



超音波を出す装置

超音波により、シカの侵入を防ぐ。

【ドローン】

ホーム等上屋、屋根・外壁部の点検から取組み、将来的には災害発生時の被害情報把握等を目指す。



寒谷トンネル

【総合研究所】

鉄道の新技術の研究や、第三者と連携しオープンイノベーション等を進めていく。



○安全への変わらぬ決意

安全目標(2017年)

○鉄道運転事故を削減する。○責任事故を発生させない。



ご清聴ありがとうございました。

